



文部科学省「国際協イニシアティブ」
平成19年度 教育協力拠点形成事業

途上国における教育の「質」の向上に資する 教育モデルカリキュラムの構築と検証

拓殖大学国際開発教育センター
赤石 和則

1. 事業の目的・方法

目的

- 教育方法(ファシリテーション、参加型学習)のノウハウの共有
- 「ファシリテーション研修ハンドブック」(モデルカリキュラム)の開発
- 途上国における基礎教育の完全普及への一助

1. 事業の目的・方法

方法

- タイ、ラオス、ネパールでの教育現状調査
- 日本の小中学校教員との意見交換会(グッド・プラクティスの紹介、「参加型学習」「ファシリテーション」の現場への普及度、etc)
- 研究会の開催(「国際開発教育ファシリテーター養成コース」カリキュラムの再検討)

2. 今年度の活動・成果

- (1) アジアにおける実証調査、資料収集、意見交換
- (2) 日本における教育現場訪問
- (3) ファシリテーション技能を活用した教育実践のための研修内容・手法の確立

(1) アジアにおける実証調査、資料収集、意見交換

タイ

- 中学卒業を雇用の最低条件に
- 教育行政の一元化(教育の量的普及、質的改善が大きく進展)
- 教科内容や教育手法が不徹底(現職教員のための研修に期待)
- 教員の能力に開きがあり、改善が不可欠(特に農山村にある小規模校)
- オー・トー・ポー(区)が教育に熱心でない

(1) アジアにおける実証調査、資料収集、意見交換

ラオス

- 情報、モノ、経験の不足
- モチベーションの低い教員(社会的地位の低さ)
- 「教師中心」の指導法
- 「どう伝えるか」「いかに分かりやすく教えられるか」には関心

ビエンチャン郊外の小学校の授業風景



ビエンチャン郊外の小学校の授業風景



(1) アジアにおける実証調査、資料収集、意見交換

ネパール

- 公立校と私立校の質の格差が深刻
- 1クラスあたりの生徒数が多く、「参加型」が成立しない
- 政府主導の教員研修が、実際の現場で効果を上げていない
- 教師の仕事に対する責任ややる気の欠如

ブッダニルカント・スクールの授業風景



RARA Hill Memorial Schoolでの 参加型教員研修の様子



(2) 日本における教育現場訪問

さいたま市立下落合小学校

- 教室内の環境づくりのゆたかさ
- 図書館の充実(読み聞かせや読書の推進)
- 保護者参加(ボランティア)の図書館活動
- 子供の理解を促す参加型学習

(2) 日本における教育現場訪問

台東区立桜橋中学校

- 懇切丁寧な指導(到達度別クラス、教育ボランティア)
- プリント、ワークシートの充実
- 私立中心の学区内での公立校の役割

(3)ファシリテーション技能を活用した教育実践のための研修内容・手法の確立

調査から見えてきたもの
(モデルカリキュラム作成のポイント)

- 学びの意義を伝える(教育の本質の確認)
- “教える”楽しさを感じる(士気の向上)
- 教育環境に制約がある中での方法論の創出

ACECによる移動寺子屋教室 (全学年が参加)



ACECのスタッフとグループ(学年別)ごとに作業(絵本を読んで感想の共有)



(3)ファシリテーション技能を活用した教育実践のための研修内容・手法の確立

「ファシリテーション研修ハンドブック」
構成案（別紙参照）

- ファシリテーションとは
- ファシリテーションの基礎
- 参加型手法の体験的整理
- 授業づくりの構想
- 事例研究
- 授業案(指導計画)の作成
- 教育評価の視点確認

3. 最終成果物に向けた進捗状況

- 調査実施国の教育実践記録の整理・再分析
- 「ファシリテーション研修ハンドブック」案の確立



タイなどでのモデルカリキュラムの実践、検証



ご清聴ありがとうございました

報告者

赤石和則(拓殖大学国際開発教育センター)

小貫 仁(拓殖大学国際開発教育センター)

石川一喜(拓殖大学国際開発教育センター)

磯野昌子(かながわ開発教育センター)